

2011年2月15日

各 位

会 社 名：コマツ（株式会社 小松製作所）
（コード：6301 東証第一部、大証第一部）
代表者名：代表取締役社長 野路 國夫
問合せ先：コーポレートコミュニケーション部長
浦野 邦子（Tel：03-5561-2616）

ユーティリティ事業体制の見直しに関するお知らせ （当社による完全子会社の簡易吸収合併に関するお知らせ）

当社は、2011年2月15日開催の取締役会において、当社の完全子会社でフォークリフトならびにミニ建機の製造・販売を行うコマツユーティリティ株式会社（以下「コマツユーティリティ」）を、2011年4月1日をもって簡易吸収合併することを決定しました。

ユーティリティ事業に関しては、これまでも経営構造改革に取り組み、収益基盤を改善してきましたが、今後を見据え、新たなる成長を図るため当社が吸収合併し、組織的にも一体化させることとしました。これにより、伸長する海外市場での事業強化のスピードアップ、開発機能の一体化による商品競争力の更なる向上と効率化、人材育成の強化を進めていきます。

なお、本合併行為は、当社による完全子会社の簡易吸収合併であるため、開示事項・内容を一部省略して開示しています。

記

1. 合併の目的

コマツグループにおいては、ユーティリティ事業に関して、2007年4月1日に実施した小松フォークリフト株式会社と小松ゼノア株式会社の合併による経営統合などを通じ、フォークリフトとミニ建機の開発体制の見直しとコマツ技術のシナジー実現による商品競争力の向上ならびに国内外における生産・販売体制の統廃合などによるコスト低減など、経営構造改革を推進してきました。

この結果、コマツユーティリティの収益基盤の強化は進みつつありますが、ユーティリティ事業において新たな成長を実現するために、これまでの経営構造改革を踏まえつつ、海外市場への対応強化や環境（地球温暖化防止）に対応した事業の発展を、より迅速に進めることとしました。ユーティリティ事業の今後を見据えた場合、フォークリフトの成長市場は建設・鉱山機械と同様に海外であり、グローバルベースでの競争力強化を早期に進めるためには、既にグローバル体制が整い、豊富な経験を持つ建設・鉱山機械事業と一体となった事業展開をすることが不可欠です。

また商品開発においては、フォークリフト・ミニ建機ともに、他社と差別化したダントツの商品開発が不可欠で、そのためにはコマツの総合力を結集した開発体制が必要であり、組織上も一体となり商品力の強化と開発の効率化を実現していきます。

更には、組織を統合することにより、これまで以上に人材交流が容易となり、人材育成や要員強化に結びつくものと考えます。

これらを進めるために、このほど当社による吸収合併を行い、組織的に一体となって事業を進めることとしました。

2. 合併の要旨

（1）合併の日程

当社ならびにコマツユーティリティでの取締役会決議日	2011年2月15日
契約締結日	2011年2月15日
実施予定日（効力発生日）	2011年4月1日

なお、当社においては、会社法第796条第3項の規定により会社法第795条第1項に定める株

主総会の承認を得ることなく、またコマツユーティリティにおいては、会社法第 784 条第 1 項の規定により会社法第 783 条第 1 項に定める株主総会の承認を得ることなく、それぞれ本合併を行います。

(2) 合併の方式

当社を存続会社とする吸収合併で、コマツユーティリティは解散します。

(3) 合併に係る割当ての内容

当社は、コマツユーティリティの全株式を保有しており、本合併による新株式の発行および資本金の増加ならびに合併交付金の支払いはありません。

(4) 合併に伴う新株予約権および新株予約権付社債に関する取扱い

該当事項はありません。

3. 合併当事会社の概要 (2010 年 3 月 31 日現在)

	存続会社		消滅会社	
商 号	株式会社小松製作所		コマツユーティリティ株式会社	
本 店 所 在 地	東京都港区赤坂二丁目 3 番 6 号		栃木県小山市横倉新田 110	
代表者の役職・氏名	代表取締役社長 野路 國夫		代表取締役社長 磯田 進	
事 業 内 容	建設・鉱山機械および産業機械等の製造、販売、サービス		建設機械および産業車両（フォークリフト）の製造、販売	
資 本 金	70,120 百万円		13,033 百万円	
設 立 年 月 日	1921 年 5 月 13 日		1948 年 2 月 13 日	
発 行 済 株 式 数	998,744,060 株		143,129,676 株	
決 算 期	3 月 31 日		3 月 31 日	
大株主及び持株比率	日本トラスティ・サービス 信託銀行(株) (信託口)	5.19%	(株) 小松製作所	100%
	太陽生命保険(株)	4.20%		
	日本マスタートラスト 信託銀行(株) (信託口)	3.95%		
	日本生命保険相互会社	3.33%		
	ジェーピー モルガン チェースバンク 380055 (常任代理人株みずほコー ポレート銀行 決済営業部)	2.33%		
直前事業年度の財政状況および経営成績				
	2010 年 3 月期 (連結)		2010 年 3 月期 (単体)	
総 資 産	1,959,055 百万円		62,693 百万円	
純 資 産	876,799 百万円		44,677 百万円	
1 株当たり株主資本	861.51 円		312.14 円	
売 上 高	1,431,564 百万円		48,197 百万円	
営 業 利 益	67,035 百万円		△ 5,830 百万円	
税引前当期純利益	64,979 百万円		△ 5,878 百万円	
当 期 純 利 益	33,559 百万円 (※)		△ 5,866 百万円	
1 株当たり当期純利益	34.67 円 (※)		△ 40.98 円	

※米国財務会計基準審議会会計基準編纂書 810 による「当社株主に帰属する当期純利益」

4. 合併後の状況

- | | |
|---------------|----------------------------|
| (1) 商号 | 株式会社小松製作所 |
| (2) 本店所在地 | 東京都港区赤坂二丁目3番6号 |
| (3) 代表者の役職・氏名 | 代表取締役社長 野路 國夫 |
| (4) 事業内容 | 建設・鉱山機械および産業機械等の製造、販売、サービス |
| (5) 資本金 | 70,120 百万円 |
| (6) 決算期 | 3月31日 |

5. 業績に与える影響

本合併により、コマツユーティリティにおける繰延税金資産に対する評価性引当金の計上が不要となり当期の税金費用が減少することから、本年1月27日公表の連結業績予想に対し、当社株主に帰属する当期純利益が約100億円増加する見通しです。

(参考) 当期連結業績予想 (2011年1月27日公表分) および前期連結実績

(金額単位: 百万円)

	売上高	営業利益	税引前当期純利益	当社株主に帰属する当期純利益
当期業績予想 (2011年3月期)	1,815,000	230,000	225,000	140,000
前期実績 (2010年3月期)	1,431,564	67,035	64,979	33,559

以 上